

福島第1原発事故による局地的放射能汚染に対する佐倉市の対応と
千葉県、首都圏自治体、メディア・市民などの動向

佐倉市の対応	千葉県内の動向	首都圏自治体の動向	メディア・市民などの動向
<p>5月30日 放射線量測定結果 発表：5月下旬、保・幼・小学校 （地上50cm）中学校（1m） 合計30か所 0.06～0.28μSv/h（最高が山王小</p>	<p>5月17日： 松戸・野田・柏・流山・我孫子市長、 県知事に地表1mの測定、保・幼の 土壌測定など要望書提出 5月21日： 千葉・市川・船橋・習志野・市原・ 八千代・浦安市長、県知事に「要望 書」提出 5月26日：松戸市独自23・25日測 定結果公表、公園等で1m0.4μSv/h 5月28日：毎日千葉版で独自調査 加速の記事 5月30日：千葉県は放射線量測定 方法の統一化、地上50cm、1m の携帯型放射線測定器による 5月31日：千葉県で東葛地域での 放射線量調査開始、我孫子の独自測 定6か所中5か所1mで0.3～0.47 μSv/h</p>	<p>4月19日：文部科学省「福島県内の学 校等の校舎・校庭等の利用判断におけ る暫定的考えについて」公表、暫定値 3.8μSv/hとした 5月24日：取手市独自測定結果公表 5月25日：守谷市独自測定結果公 表 以降、竜ヶ崎、牛久、つくば市など 独自で実施した測定、結果公表続く 5月27日：文部科学省「福島県内の校 庭等における土壌に関して児童生徒等 の受ける線量の低減策を講じる設置者 に対して国が財政支援を行う場合の指</p>	<p>3月下旬～ 放射線・原子力教育関係者有志に よる全国環境モニタリング 4月22日：日弁連「福島県内の学 校等の校舎・校庭等の利用判断に おける暫定的考え方について」に 関する会長声明 5月11日：武田邦彦のブログ「柏・ 松戸・流山・三郷のホットスポッ ト、子供を守ってください」 5月15日：NHK・ETV特集「放 射能汚染地図」放映 5月25日：日本共産党都議団が都 内129か所測定結果公表、江東・ 足立・葛飾などで、 水元公園（地表0m、0.618μSv/h ほか）1mでも0.2～0.3μSv/hなど 続出</p>

<p>学校)</p> <p>6月2日: 佐倉市、印旛区域の成田・四街道他9市町で県知事へ「原発事故に伴う要望書」(測定地点増設・統一した測定と結果公表・放射線量規制基準の一定など)提出</p> <p>6月14日・16日 放射線量測定(6月17日発表): 小学校・公園10か所 (地上6cm,50cm,1m) 0.07~0.34 μ Sv/h (志津小グラウンド50cm) ~0.47 μ Sv/h (最高が上座公園道路6cm)</p>	<p>印西・市原・船橋独自測定開始</p> <p>6月2日:千葉県が東葛6市で、15か所目標超過の測定結果公表</p> <p>6月8日:「東葛地区放射線量対策協議会」設立、県に測定の継続と参画要望。6月13日より6市共通基準で各市6地点を6回に分けて測定</p> <p>6月25日:野田市、保・幼・小・中学校 0.19 μ Sv/h とする。 0.3 μ Sv/h 以上は立入禁止とする</p>	<p>標」を公表、1 μ Sv/h とした</p> <p>6月8日:東京都、100か所での測定計画発表 15日開始、区市町村に70台の測定機器貸出予定</p> <p>6月20日:川口市、子どもの放射線量年間被ばく限度を1.64mSvとし、0.31 μ Sv/h とする暫定規制値を公表</p>	<p>6月9日:毎日新聞社説「放射線量の不安、もっとモニタリングを」</p>
--	--	--	---

